

# 凱旋記念館が見てきた 100年の風景



西九州自動車道佐世保中央 IC の近くにある「佐世保市民文化ホール」。この建物は、海軍佐世保鎮守府凱旋記念館として大正 12 (1923) 年に建設され、令和 5 年で建設から 100 周年を迎えました。

今回の特集では、建設 100 周年を記念し 9 月 23 日から 10 月 1 日にかけて博物館島瀬美術センターで開催された「第 18 回佐世保市近代化遺産写真展『凱旋記念館が見てきた 100 年の風景』」で展示された写真などを紹介するとともに、これから参

加できる市民文化ホールに関するイベントなどを紹介します。

平成 9 年には大正時代の貴重な建築物として国の有形文化財に登録され、平成 28 年には「鎮守府横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」の構成文化財として日本遺産に登録された市民文化ホール。その歴史を改めて知り、現地に行ったり、体感できるイベントなどに参加したりしてみませんか。

## 旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館



大正 3 (1914) 年の第一次世界大戦において、日本は連合国側に参戦しました。大戦後半、佐世保鎮守府の所属艦艇を中心とする艦隊は、地中海において潜水艦からの護衛という前例のない任務に就きました。日本艦隊の献身的な護衛活動は高く評価され、イギリス国王から勲章を授与されるほどでした。

この活躍を記念し、のちに旧制西海中学校 (現西海学園高等学校) を創立する菅沼周次郎らによって、凱旋記念館の建設が企画され、大正 12 (1923) 年に建てられました。

建設費はおよそ 8 万 6 千円 (現在ではおよそ 11 億円) か

かり、大部分は佐世保鎮守府管下の九州、四国、沖縄の 12 県からの寄付金により支えられました。

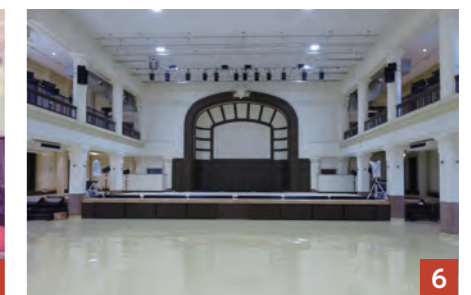
建物はれんがと鉄筋コンクリート造りの 2 階建てで、切り妻を正面に見せた左右対称の外観、1、2 階を通した柱、装飾性に富んだ金具やレリーフに特徴があります。

長らく海軍の行事に使用されていましたが、第二次世界大戦後すぐに米軍に接収されました。佐世保市が「佐世保市民文化ホール」として使用するようになったのは、昭和 57 (1982) 年のことです。

市民文化ホールは、平成 9 年に国の有形文化財に登録されましたが、完成から 90 年たったころから、使用に影響が及ぶほどの劣化や故障が目立つようになってきました。そこで、佐世保市は平成 26 年 3 月から平成 27 年 11 月まで、総工費約 4 億 7 千万円をかけて改修工事を実施しました。

改修工事では特に耐震補強を中心に行うとともに、可能な限り完成当時の雰囲気近づけることにも力を入れました。建築部材や調度品の一部は、市民文化ホール 2 階に展示しています。

完成から 100 年たった現在では、市民の皆さまに文化活動の場としてご利用いただいています。



1 令和 5 年に存在が確認された凱旋記念館絵はがき。大広間の天井部分や記念室の様子が分かる貴重な資料です。左上のスタンプは日付入りの開館記念スタンプです 2 凱旋記念館 2 階階段上ホール。内壁や建具、照明の意匠が分かります (西海学園高等学校菅沼周次郎記念館所蔵) 3 凱旋記念館 1 階客席 (昭和 57 年返還時) 4 平成の大修理時の写真。かつての白い塗装は、米軍が接収していた時に塗られたもの。平成の大修理の際に本来の姿に戻しました 5 改修前内部 6 改修後内部



## ● 佐世保橋 (海軍橋)

明治 19 (1886) 年、海軍鎮守府建設工事が始まり、佐世保川を渡り市街地と海軍を結ぶ木造橋が架けられました。正式には「佐世保橋」ですが、海軍鎮守府の表門前にあったことから、親しみを込めて「海軍橋」とも呼ばれました。

明治 39 (1906) 年には、当時国内で最長となる鉄筋コンクリート造の橋が架けられました。昭和 13 (1938) 年に拡幅し、昭和 60 (1985) 年には現在の橋に架け替えられました。



昭和初期



昭和 10 年頃



浜田公園にある親柱と高欄の一部

橋の東にある浜田公園には、旧橋の親柱と高欄の一部が保存されています。

写真は海軍橋を中心に捉えていますが、周辺の風景にも注目してください。「凱旋記念館」や「<sup>かしかん</sup>下士官集会所」などどのように写っているか、その風景や建物の姿、形の変化から、撮影された年代を推察することができます。

## ● 水交社



二代目水交社

水交社とは、海軍士官の懇談や外国艦隊士官の接待、艦隊乗組士官の宿泊に使われた施設です。

佐世保水交社は明治 26 (1893) 年に谷郷町に設立され、明治 31 (1898) 年に上町に移転しました。初代は木造で、次いで鉄筋コンクリート造 2 階建て (一部 3 階) に建て替えられました。戦後は米軍が将校クラブに使用していました。

現在は海上自衛隊佐世保史料館 (セイルタワー) が建っています。当時の建物の一部を使用しており、玄関周りの意匠や八角形の屋根などに水交社時代の面影が見られます。

## ● 下士官集会所



二代目集会所

下士官や水兵の宿舎、休息、教養娯楽等のための施設として、明治 35 (1902) 年に建てられました。昭和 10 (1935) 年には鉄筋コンクリート造 3 階建てに建て替えられました。第二次大戦後には米軍の司令部が置かれたこともあります。

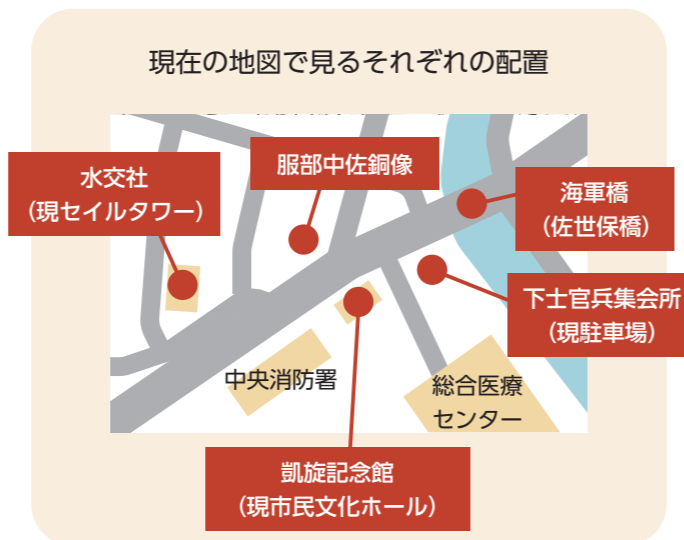
## ● 服部中佐銅像



かつて凱旋記念館の北、教法寺に接する場所に服部雄吉中佐の銅像がありました。服部は薩摩藩士の子に生まれ、海軍兵学校卒。明治 27 (1894) 年に起こった日清戦争では軍艦秋津洲の砲術長として参戦し、後に海軍中佐となりました。

明治 33 (1900) 年、中国の義和団の乱 (北清事変) では佐世保で編成された海軍陸戦隊 300 余名を率いて、<sup>ターナー</sup>太沽砲台に進撃、占領するも、38 歳で戦死しました。

銅像は、太平洋戦争中の金属供出で撤去回収されました。



## 佐世保市民文化ホール イベント情報

### 日本遺産 佐世保鎮守府周遊ラリー

「佐世保鎮守府」に関連する遺産は、佐世保市周辺市町にもたくさん残されています。佐世保市を中心に、平戸市、西海市、川棚町の 4 市町を巡る周遊ラリーで、各地の鎮守府関連遺産を巡ったり、グルメや観光を楽しんだりしてみたいかがでしょうか。

**日程** 3月31日(日)まで

**場所** 佐世保市、平戸市、西海市、川棚町

**内容** キーワードを集めて報告することで、佐世保鎮守府オリジナルカード (先着 5,000 人) やオリジナルパスケース (先着 150 人) がもらえます

**料金** 無料



市 HP  
(佐世保鎮守府周遊ラリー)

☎黒島観光協会 ☎ 56-2311

### アソボ サセボ アートロード



建設から 100 年を迎える旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館を中心に、3 人のアーティストとコラボしたアートイベントを開催します。レトロアートなオブジェや巨大絵本などが出現。遊べるアート展示をお楽しみください。

**日程** 1月15日(月)～2月22日(木)

**場所** 旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館 (市民文化ホール)、浜田公園、佐世保公園、島瀬公園

**内容** 市民参加型のアート作品展示、デジタルスタンプラリー、フォトコンテストなど



佐世保観光  
コンベンション協会 HP

☎佐世保観光コンベンション協会 ☎ 23-3369

## 佐世保市民文化ホール 概要・施設見学・利用方法など

### 概要

**開館時間** 9時～22時

**休館日** 火曜日 (火曜日が祝日の場合は、翌日が休館日)、年末年始 (12月29日～1月3日)

**場 所** 平瀬町 2 ※駐車場 28 台。

### 施設見学 (無料)

建物外観の見学はいつでもできます。館内は利用状況によって見学できない場合があります。市民文化ホールへお問い合わせいただければ、見学できる時間を案内します。



市民文化ホール HP

### 施設利用

施設	収容人数	利用料金	受付開始日
ホール (本番)	約 300 人	1,850 円～ / 時間	1 年前の同月 1 日
ホール (練習)		550 円～ / 時間	3 カ月前の同月 1 日
会議室 A	約 12 人	70 円～ / 時間	
会議室 B	約 8 人	60 円～ / 時間	

**申込** まずは電話か市民文化ホール窓口で空き状況の確認と仮予約を行ってください

※詳しくは市民文化ホール HP をご覧ください。

特集に関する問い合わせ

(写真展) 文化財課、(イベント) 観光課、(施設) 文化国際課 ☎ 24-1111

(施設の利用に関すること) 市民文化ホール ☎ 25-8192